

<http://www.ses-japan.org/>  
SES-Japan エコクリティシズム研究学会  
第 27 回大会

2014 年 8 月 8 日—9 日

ホテル北野プラザ六甲荘/神戸市外大 UNITY

8/8 (金)

会場：ホテル北野プラザ六甲荘 会議場 (レモン・ムイ・スト・センター) <http://www.rokkoso.com/>

14 時 30 分—15 時 40 分 公開読書会 15 時 45 分—16 時 45 分 役員会

16 時 50 分—17 時 50 分 総会 18 時—20 時 懇親会 (ホテル北野プラザ六甲荘内)

8/9 (土)

会場：神戸市外大 UNITY ホール UNITY セミナー室 4

ワークショップ 9 時 35 分—11 時 05 分

「*Beyond Romantic Ecocriticism—Toward Urbanatural Roosting* を読む」

司会・担当：日臺晴子 (東京海洋大学)

担当：谷岡知美 (広島修道大学) / 平瀬洋子 (広島国際学院大学)

浅井千晶 (千里金蘭大学) / 熊本早苗 (岩手県立大学)

研究発表 11 時 10 分—12 時 55 分

1. 岸野英美 (松江工業高等専門学校) 司会：吉田美津 (松山大学)

「アメリカのフードシステムとルース・L・オゼキの作品」

2. 一谷智子 (西南学院大学) 司会：松永京子 (神戸市外国語大学)

「ニュークリア・サイクル：B. ワンガーの連作小説にみる惑星思考」

3. 浜本隆三 (福井県立大学) 司会：中垣恒太郎 (大東文化大学)

「Mark Twain の『自伝』にみる記憶に刻まれた風景」

~~~~~

特別講演 13 時 40 分—14 時 40 分

「カッサンドラ・コンプレックス——予言の文学と環境批評」

講師：巽 孝之先生 (慶応義塾大学)

2011 年に起こった 3.11 同時多発災害の直後、わたしは笠井潔氏と語り、第一線の SF 作家たちの寄稿を  
結集し小松左京の遺稿となる序文を掲げた『3.11 の未来——日本・SF・創造力』（作品社、2011 年 8  
月）を共同で編集した。その時に着想したカッサンドラ症候群ともいえる心性史は、未来予測の文学と  
ともに環境批評にとっても有益であろう。新たな視点より、この主題に再び取り組んでみたい。

~~~~~

シンポジウム 14 時 50 分—16 時 50 分 (英語と日本語両方で進行します)

"Ecology, Speculative Fiction, and Ecocriticism"

Chair: Michael Gorman (Hiroshima City University)

Lecturers: David Farnell (Fukuoka University)

"Re-Terraformation of Earth in Kim Stanley Robinson's *Blue Mars* and *2312*"

Harada Kazue (Washington University, St. Louis, Missouri)

"Posthuman Worlds: Coexistence and Co-evolution in Ueda Sayuri's *The Ocean Chronicles*"

Satomi Nakayama (Japan Coast Guard Academy)

"An Ecocritical Reading of Kurt Vonnegut's Science Fiction"

Respondent: Itoh Shoko

問い合わせ先⇒ The Office of SES-Japan mizuno@sanyo.ac.jp 会員外のかたも歓迎！！